

多高通信

第154号 平成30年5月29日発行



さどく ゆたかに たくましく
宮城県多賀城高等学校

1学年 校外オリエンテーション

5月2日、秋保リゾート森林スポーツ公園において1学年の校外オリエンテーションが行われました。入学後のオリエンテーションの一環として、友人同士や教員との親睦を深めるものです。豊かな自然の中で、普段の学校生活とは違った経験ができ、素敵な笑顔が多く見られました。

■木村浩太(1年2組 高砂中出身)
オリエンテーションの中で行われる

企画は、私たちロングホームルーム係が中心となって行いました。

1週間ほど前から入念な計画を練り始めましたが、各クラスの係が集中して話し合いを行い、お互いに質問を繰り返しながら細かなところまで計画を練ることができました。そのかいもあり、当日の企画はスムーズに行うことができました。終わったときには本当に良い経験ができたと思える充実感を感じることができました。



クラス対抗 長縄大会



昼食はBBQ!

これからも学年行事は何度かありますが、今回のオリエンテーションでの経験を生かし、今回以上の企画をつくり、楽しんでいくために、クラス内外の交友関係を深め、ロングホームルーム係同士のチームワークもさらに深めていきたいと思います。1つの企画を計画性を持って進め、達成することができたという経験は、今後大いに役に立つものと思っております。これからもがんばっていききたいと思います。

災害科学科 有珠山ジオパーク巡検

5月7日～9日の3日間、災害科学科1、2年の有志6名が北海道室蘭栄高校との合同巡検に参加しました。7日の巡検前日には、室蘭栄高校の先生から

昭和新山をバックに



ら有珠山噴火の歴史について事前ガイダンスをしていただき、8日の巡検当日は、実際に噴火活動があった西山山麓火口コースにおいて、断層によって国道が寸断された現場に立ち入ったり、当時の噴火口に降りるなどしながら、火山災害について様々な視点から捉えることができる実習となりました。午後には4つのテーマに分かれて課題研究を行い、本校生徒は被害に遭った国道跡地の隆起に関する調査を行いました。9日には、室蘭工業大学の協力のもと、安居光圀准教授によるDNAの抽出と電気泳動の実験を行いました。

■佐瀬 翼(2年7組 多賀城中出身)

今回の洞爺湖有珠山巡検では人生初のことが多く、とても有意義で感動的な3日間になりました。有珠山においては、噴石の観察や火山活動による地殻変動を調査しました。広い範囲にわたって被害を受けており、噴石の飛んできた方向や隆起の状況などをイメージするのは大変でしたが、ガイドをしていただいた先生や一緒に活動した人たちと交流する中で、火山活動に関する疑問を多く見つけることができました。室蘭工業大学で行われたDNA抽出実験においては、難しい内容ではありましたが、実験をしながら1つ1つの事象の理由を突き詰めることの重要性を実感しました。3日間の活動のすべてを今後の課題研究等に活かしていきたいと思えます。

巡検の様子



室蘭工大での実験



吹奏楽部 第41回定期演奏会

■副部長 菊地陽菜(3年4組 中野中出身)

私たち吹奏楽部は5月12日に多賀城文化センターにて第41回定期演奏会を開催しました。演奏会を開催するにあたり、たくさんの方々の応援、ご協力をいただきました。本当にありがとうございます。

私たちは「笑顔になって感動していただき all standing!」を目標に定期演奏会に向けて準備を進めてきました。練習をしていく中で、部員同士の意見が食い違ったり、思

客演指揮の藤重先生



うように練習が進まないなど、たくさん壁にぶつかりました。それでも部員1人1人が「定期演奏会をより良いものにしたい」という気持ちで、諦めることなく練習を工夫し前向きに活動していきました。長崎からお越しいただいた藤重佳久先生のご指導では、どんどん変わっていく自分たちの演奏に喜びと楽しさを感じ、吹奏楽の魅力をもっと深く知ることができました。本番は、練習の成果を発揮することができ、最後はお客様にall standingしていただき大変盛り上がったステージとなりました。演奏終了後には、たくさんの方々に「本当に楽しかった」「感動して涙が出てきた」などのお声がけをいただくことができ、大成功の演奏会となりました。

定期演奏会が終わると、いよいよ3年生にとっては最後となる夏のコンクールに向けた練習が本格化します。今年こそ、目標としている全国大会出場を果たし、金賞を受賞できるように部員88人が一丸となって日々の練習に取り組んでいきたいと思えます。

これからも皆様に喜んでいただける演奏を目指して頑張ってください。多賀城高校吹奏楽部に温かいご声援をよろしく願います！

冒険家・関口裕樹さん カナダ人力縦断

地理B 特別授業

5月14日、冒険家として活躍している関口裕樹さんをお招きして、2・3年生の地理B選択者を対象として厳冬のカナダ人力縦断についてのお話を聞きました。最低気温が零下50度近くにもなる極寒の地でGPSなどを使わず太陽の位置と風向きだけで目的地まで進むことや、100kgのソリを引いて乱氷の上を歩く大変さ、北



米のイヌイットやネイティブアメリカンのやさしさや生活・文化などについて教えていただきました。また、関口さんが冒険家になることを決めた高校時代のお話は、生徒自身がこれからのように生きていきたいか考えるきっかけになりました。

■高松 龍(3年7組 石巻市立河南東中出身)

私は中学生のときの英語の教科書で星野道夫さんの人生について読んだことがあり、「そんなに簡単に自然に身をあずけることができるのだろうか？」と考えたことがありました。関口さんのお話を聞いて、自分自身の強い思いがあれば実現し得るものなんだなと思いました。カナダ縦断のようすも普段の我々の生活ではとても考えられないような光景ばかりでしたが、そのような本来の自然をそのまま体感することができるということは、とても幸せなことなのではないかと思いました。もしチャンスがあれば、自分の目でそれを確かめてみたいです。関口さんの現在進行中の計画が無事に成功することを願っています。またいつかお話が聞けたらいいなと思っています。本当にありがとうございます。応援しています。

頑張れ多高生! 県総体壮行式

6月2日の県高校総体を控えて、5月15日に県大会壮行式が行われました。

■柴崎千寛

山岳部の皆さん



5月15日に県大会壮行式が行われ、出場する選手一同が大会にあたっての決意や抱負を宣言しました。吹奏楽部からの応援もあり、選手もやる気が一層高まったように思えます。今年度は県大会に出場する部が例年よりも多く、期待の声がかかっています。

私の所属する山岳部では、船形連峰に2泊3日で登ることができます。今年度は新たに1年生部員を多く迎えることができ、男女とも正式参加することができました。今回のコースは今までよりも長く、長時間の行動となります。山の景色を楽しみながら登ることはもちろんですが、この県総体で優勝しインターハイに進出するために、コースの下見では歩行やチームワーク、読図や植生など審査のポイントとなる点を意識し、また、普段の部活動では大会コースを完走できるように体力づくりに励みたいと思います。

練習の成果を出し切れるよう精一杯頑張ってください。応援よろしく願います。